クラブ等を糾合して組合員一千六百名と稱し十八日當局に有資格組合たるの了解を求めて來た。其他九州方面に於て尙一大組合が現はれんとするの模樣がある。

西部交通勞働組は實際組合員四百名位であるから到底資格を有することは不可能であらう、有資格とすれば總同盟側で有り、九州地方の新組合は長門氏系統であらう。

海軍系統たる民間造船所に新に組合組織運動あるものゝ如く傳えらるゝも目下の處全く無根の事實である。

是處暫くは既成組合の爭奪又新組合の組織に猛烈なる接戰を演ずるであらうが若し總同盟が勝利を得れば代表鈴木文治、顧問米窪滿亮、川村保太郎、隨員として西尾、鈴鹿が擧げられることゝなる。